

令和4年度 小中一貫教育推進ブロックにおけるカリキュラム・マネジメントの概要

ブロック名

栗田谷

中学校ブロック

ブロック内 学校名 (◎は令和4年度幹事校)	◎栗田谷中学校	幸ヶ谷小学校	青木小学校
	二谷小学校		

1 9年間で育てる子ども像

未来を拓き、心豊かに生きる子

2 9年間で育成を目指す資質・能力

未来を拓き、心豊かに生きる力
「自己肯定感を育てる」「規範意識を高める」「思いやりの心を育てる」

3 令和4年度の取組目標(「9年間で育てる子ども像」の実現に向けた取組目標)

小中の教職員で情報を交換し、9年間で子どもを育てる意識の向上を図る。
小学校・中学校の授業公開と参観を通して、相互の交流を深める。
義務教育9年間のカリキュラムを小中相互の教職員でマネジメントできるようにする。

4 令和4年度の研究テーマ・重点取組

「学びの場」のつながりを重視した各教科等の学習の充実
人権教育「だれもが」「安心して」「豊かに」

5 小中一貫教育の具体的な取組計画

取組時期	取組内容
前期 (4月～10月)	<ul style="list-style-type: none"> ○ブロックの子どもたちの学力・体力等の状況を分析する。 ・学力・学習状況調査、・体力・運動能力調査 ○年間指導計画に沿った授業実践をする。 ・9年間で育成を目指す資質・能力を意識し、主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業づくりをめざす。 ○ブロックの子どもたちの社会的スキルの育成状況を把握する。 ・いじめアンケート・朝鮮学校との交流 ○横浜プログラムにおける各校の取組項目の決定
後期 (10月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> ○PDCAによる授業改善の見直しと年間指導計画の見直しをする。 ○朝鮮学校との交流 ○小中相互の職員交流 ・9年間で育成を目指す資質・能力を意識した授業のあり方や主体的・対話的で深い学びの充実に向けた意見交換をする。 ・成果と課題を整理し、次年度への改善点を検討する。

6 ICTを活用した教育活動の推進

小中一貫会議で、カリキュラム・マネジメントを話し合う際に、各校で昨年度のICTの実施状況について情報交換する。会議で共有したことから、各校でよりよい授業につながる活用方法を積極的に取り入れていく。